



弘前大学形成外科研修プログラムの魅力

貝塚 滯奈 形成外科 医員

2017年3月 弘前大学卒

形成外科専門研修プログラム 2019年度開始



幼少期から絵や物作りが好きで、授業を受けたその日から、迷わず形成外科医になろうと決めていました。

弘前大学での専門研修を選んだ理由は、幅広く豊富な症例が集まっていることと、風通しの良い講座の雰囲気に魅力を感じたからです。大学には、青森県内全域から秋田県北の全症例が集まるため、専門医取得のために学ぶべき症例を網羅できます。また、症例数も多く専攻医1年目の夏頃から主治医となり執刀できます。最も印象的だったのは、ご高齢の下肢Ⅲ度熱傷の方でした。(私が滝のような汗をかいた)手術、リハビリを経て、一時不可能と思われた自宅退院が実現し、帰る背中を見送った時は、嬉しさと目頭が熱くなりトイレに逃げ込みました。もっと成長して多くの力になりたいと思える経験をさせていただきました。

また、当科では主治医制ながらスタッフ全員で診察し、指導医・専攻医も関係なく治療法のアイデアを出し尊重し合います。より良い医療を患者さんに提供できるとともに、医師自身も常に成長し合える素敵な環境です。

まだまだ「普通であること」を求められる世の中で、傷を負った人が社会へ歩み出すとき、手を差し伸べられるよう頑張っています。みなさんが興味を持っていただけたら嬉しいです。



教授の助手



外来手術